

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	芸術文化振興事業					事務事業コード	01803
部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課	係名	生涯学習係	部課コード	120100

1. 事業概要

総合計画コード	3421	3422			
事業年度	年度 ~ H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市文化協会補助金交付要綱		
めざす目的成果	文化協会会員をはじめ文化芸術活動を行う市民や団体が、発表機会を得て、活動の成果を発表できている。				
事業内容	文化事業を共催して実施する。 文化協会に補助金を交付する。 芸術文化展、文化祭、市民芸能まつりを実施する。 夏休み親子陶芸教室を開催する。 芸術・文化の推進と伝承のために、朝霞市文化協会等市民や市民団体と協力しながら、講座やイベントを開催する。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 朝霞市・朝霞市教育委員会・朝霞市文化協会の三者による主催事業として、各種イベントを開催。文化祭、芸能まつりでは、一般市民の参加も公募している。《補助金名》「芸術文化展補助金」「文化協会補助金」「文化祭補助金」「市民芸能まつり補助金」				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		文化事業を共催して実施した。文化協会に補助金を交付した。(文化協会補助金 1,275,200円 1団体/30,000円 文化協会本体85,200円 文化協会40周年記念誌発行事業費500,000円) 芸術文化展(年1回)を実施した。(芸術文化展補助金 180,000円 入場者数延べ3,585人) 市民芸能まつり(年1回)を実施した(市民芸能まつり補助金 298,000円 入場者数延べ1,975人) 文化祭(年1回)を実施した(文化祭補助金 638,000円 入場者数延べ13,071人)				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		1,928	2,045	2,557	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	1,928	2,045	2,557		
	b 人件費		5,496	5,862	5,716	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		7,424	7,907	8,273	
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.75 人	0.80 人	0.78 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		0 時間	0 時間	0 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	報償費 100千円、需用費 63千円、役務費 2千円 補助金 2,392千円/朝霞市文化協会補助金1,276千円、文化祭補助金638千円、市民芸能まつり補助金298千円、芸術文化展補助金180千円、 合計 2,557千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 朝霞市文化祭開催回数	回	1 (1)	1 (—)	1 (—)	H 32 年度
	② 朝霞市芸術文化展開催回数	回	1 (1)	1 (—)	1 (—)	H 32 年度
成 果	① 朝霞市文化祭延べ参加者数	人	17,000 (13,071)	17,500 (—)	18,000 (—)	H 32 年度
	② 朝霞市芸術文化展延べ参加者数	人	5,100 (3,585)	5,200 (—)	5,200 (—)	H 32 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input type="radio"/> A 必要性が高い	<input checked="" type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 伝統文化の伝承や芸術文化の振興は、暮らしや心の豊かさ、地域コミュニティの振興の面でも大切であり、個人や地域だけで行うことには限界がある。また、市と市民団体が協働で文化の振興にあたり、広く市民が参加し、文化に触れる事は、文化教育の格差をなくす側面も有するほか、異世代間の交流機会ともなり、コミュニティの活性化にもつながる。さらに、発表と文化交流の場を設けることで、市民の芸術文化に対する意識や創作意欲の高揚が計られる。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 次世代を担う子どもが芸術文化に触れる機会を提供するため、親子陶芸教室や、文化協会や青少年相談員の協力で文化祭での体験教室を実施した。参加した子どもたちは、それぞれに発見や達成感をもった様子で、芸術文化を知り、理解するきっかけとなった。各種多様な芸術文化を学び、携わる市民の発表の場を提供することで、学習の成果の確認と参加者、来場者の交流や異世代間の絆を深めることができた。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 文化祭等の実施にあたっては、多くの市民が参加できるよう一般公募を行った。 参加と協働: 文化祭等の実施にあたっては、朝霞市文化協会と協働し、市民が参加し、運営する文化のイベントとなるよう努めた。 経営的な視点: 朝霞市文化協会と積極的に意見交換を行い、課題を共有し、効果的な文化行政が推進できるよう事業を推進した。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 親子陶芸教室では、親子が本物の芸術に触れ、絆を深めるよい機会となった。また、文化祭での子ども対象の体験教室や、高校生の参加の機会を提供したことで、より多くの市民に文化祭を知っていただき、芸術文化を身近に感じる機会の提供できた。今後も子どもから高齢者まで幅広い世代が芸術文化に触れ、交流できる場となるよう努めていく。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)
<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大		(実施時期 : H	年度)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期 : H	29 年度)	
	<input type="checkbox"/> その他	(実施時期 : H	年度)	
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	青少年や子どもが参加できる事業を引き続き実施し、伝統文化の継承に努めるとともに、幅広い世代が交流し、芸術文化を身近に感じ親しみ、学ぶ機会の提供に努め、芸術文化の振興を図る。また、来場者数の向上のため、より積極的なPRに努めていきたい。			